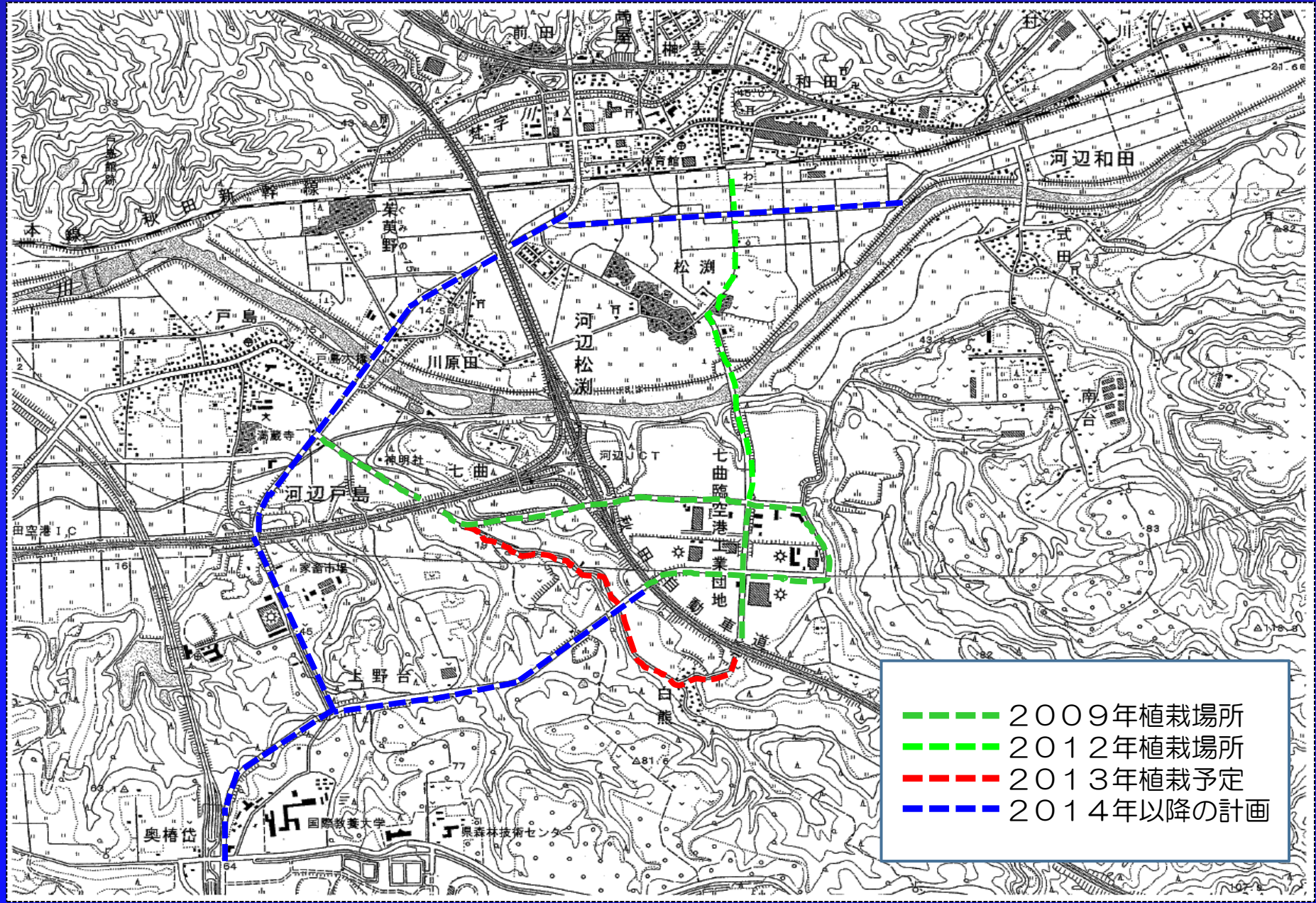
七曲臨空港工業団地と
その周辺の緑化事業

仮称「アジサイロード戸島」計画

七曲工業団地連絡協議会　＆　戸島町内会

対象区域　：　秋田市河辺戸島



検　討　比　較

案	植栽	コスト	管理	判定
1	将来、高木となる苗木 ナナカマド サルスベリ	植樹桝の土の入替えが必要 1500円／ポット	成長の過程で雪害の発生（枝の折損）等がある。 支柱の設置は必要。 開花まで３～５年かかる。	×
2	将来、中木となる苗木 アジサイ	植樹桝の土壌改良が必要 1000円／ポット	根付くと強く、雪により多少の株割れはあるが、生育への影響は少ない。 開花は翌年から可能。	○
3	毎年草花を植える。 ポピー コスモス	植樹桝の土壌改良が必要 150円／ポット	毎年植つけが必要。散水作業もある。手間がかかる。	×

推進体制

七曲工業団地連絡協議会
１３社

環境部会

従業員とその家族、地域住民、関係組織等

豊島地区町内会

畑谷　豊成
戸島　茱萸野
七曲　畑
白熊　前田
松渕　黒沼
川原田　小高

協働事業を実施

４月…美化運動
７－９月…剪定・除草
１０月…美化運動
不定期…剪定・除草等

活動の基本的な考え

豊かな自然とせせらぎの町「河辺戸島」に位置する七曲臨空港工業団地とその周辺（戸島町会他）の環境を、将来にわたり、より健全な状態で次世代へ引き継ぐ活動を行う。

①本地域が、団地内の従業員や地域住民等が季節を感じ、互いに憩える環境整備を行うこと。

②アジサイを植樹し、アジサイロードなどに発展させ、地域環境美化や活性化を目指すこと。

③事業を通じ、当団地と周辺町内会がさらに活発な交流を通し、相互に地域を守って行く風土を強固なものとすること。

＜将来構想として＞

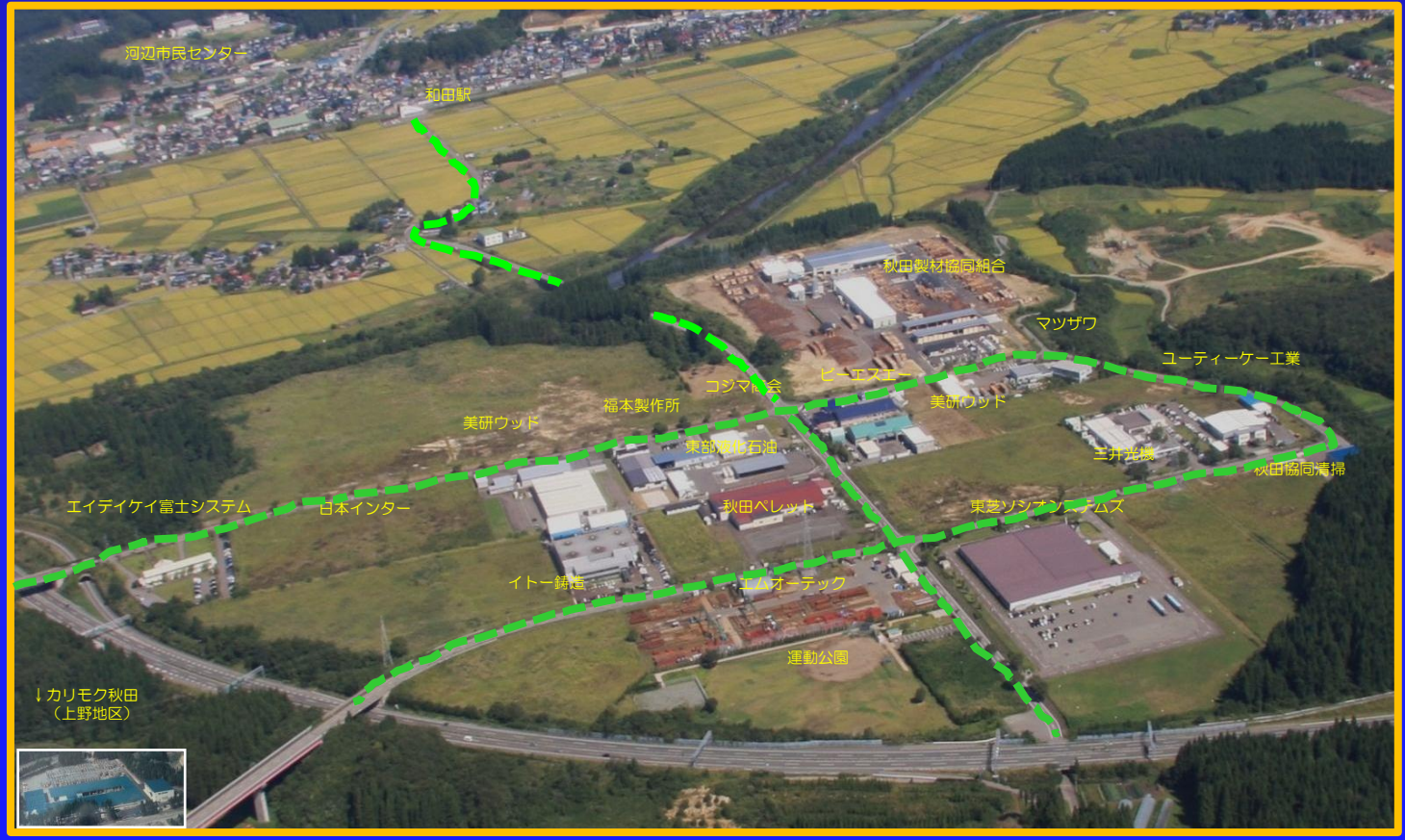
季節にはアジサイの開花を楽しむことが出来る環境をつくる。植樹後の維持管理は、当団地内社員と周辺地域・町内会との交流を通して、定期的に美化活動を行い、将来的に秋田市の名所となるような環境（団地・地域とも）をつくり、地域の活性化を目指す。

あわせて「アジサイロード戸島」として「河辺戸島」をＰＲしていく。

事業活動の経緯

年度	事業概要	管理
２００９年	団地内植樹枡５２２箇所 周辺道路　　１９０箇所 延べ3km	６月　除草　施肥 ９月　除草 １０月　除草
２０１２年	和田駅南側～団地入口 １６０箇所 延べ1.9km	
２０１３年 （計画中）	白熊地区～ 150箇所 延べ1.5km	

七曲臨空港工業団地



七曲臨空港工業団地は、21世紀のまちづくりとして秋田テクノポリス計画のもと、東北日本海岸の中核都市旧秋田市、先進技術産業を核とする旧河辺町、東北一の空港を有する旧雄和町の一市二町を対象に新しい町づくりを目指して成長することを目的に昭和60年代に総面積670万㎡（工場用地510万㎡　分譲可能面積32万㎡）を整備したものである。（2005年1月11日の市町合併で河辺町・雄和町が秋田市へ編入）

現在、16社が操業しており、企業紹介を含め概要を公開することにより、更なる拡販・成長へつなげるとともに地域との交流や活性化へ寄与する。

七曲工業団地連絡協議会の概要

当会は、七曲工業団地内に事業所を有している企業で組織し、会員のための必要な事業を通して会員相互の連帯と親睦を図ることを目的として下記の活動を実施している。

1．主な活動

①総会（会員企業は年会費2万円）
②スポーツ交流会では、場所を変えながら交流を深め、同時に情報交流会を実施。
③ソフトボール大会　団地内グランドを使用し企業対抗として実施。
④都度懇談会を開催、団地に係る諸問題の提案・要望・陳情などを実施。
⑤その他　美化運動　不法投棄　地域行事への協力などを実施。

2．関係団体

①河辺雄和商工会　②戸島町内会　③河辺自治協議会　④秋田市防火安全協会
⑤他業種別関係団体

3．今後のあるべき姿

当団地は、空港・高速道IC・鉄道駅が近接しており、交通アクセスに恵まれた位置づけとして今後発展する要素が多く、将来の姿を下記に示す。

①団地の7割程度に企業が進出し、昼人口1000人規模となり、活気に満ちている。
②七曲工業団地連絡協議会に全企業が加盟し、内外共に活動が活発で、秋田市の工業中心地として発展している。
③生産活動に加え、地域との連携を強化し、周辺町内会・各種団体・小学校・中学校・国際教養大学等との活動を通して、文化・産業・地域の発展に貢献し、中核工業都市としての発展に向けて成長している。

七曲工業団地連絡協議会活動とアジサイ植栽事業の取り組み概要

工業団地の整備の傍ら1991年には、有志企業による七曲工業団地連絡協議会を結成（現13社が入会）、団地内企業の連携として、環境維持のため行政との折衝・レクリエーレーション・周辺地域との不法投棄防止の連携、調整などを柱として、行政・企業・地域との連携した活動で現在に至る。

1. 七曲工業団地連絡協議会を軸とした団地内企業の交流並びに周辺地域との融合により、互いの成長・雇用・事業開拓拡大などへ成長させる。
2. 団地内の企業が増え、周辺地域の雇用が確保され人口も増加し、魅力ある企業ならびに、環境に配慮した都市整備を行政と共に行い、本地域が秋田県を支える工業の情報発信や工業の中心地として位置付くように協働の街つくりを行う。
3. 団地内企業の従業員や地域住民等が共に活発な交流を通して、相互に地域の活性化につながる事業や、季節を感じ、互いに憩える環境整備を行う。

これらの活動の一環として、2009年に実施したアジサイロード戸島計画（現在延べ3.0㎞　720株）に加え、新たに和田駅南側から団地入口までの2.0Km（160株）を延伸。施肥と除草を加え、企業と周辺の戸島地域（白熊・戸島・七曲・松渕・川原田）との協働事業を実施し、将来的に活気ある地域つくりの継続的発展に寄与していく計画を推進中。

これは、豊かな自然とせせらぎの町「河辺戸島」に位置する、七曲臨空港工業団地と周辺の環境を、より健全な状態で次世代へ引き継ぐ社会の一員であることを基本として、

①将来にわたり企業の従業員や住民等が季節を感じ、互いに憩える環境の整備を行う。
②将来、アジサイの里やアジサイロードなどの名所を目指し、環境美化や活性化を行う。
③事業を通じ、企業と地域が活発な交流を通し、互いに地域の活性化を行う。

これらを狙いとして、事業のさらなる活性化と、地域との結びつき、および地域の活性化を深めていく。

すでに2009年に植栽したアジサイ株（当時、高さ30㎝程度）は、1m超に成長している。

七曲工業団地周辺地域の現状（２００８年当時）

２００９年の植樹事業　開会式

植栽風景

そっと見守ってください

2013年度事業活動計画

「アジサイロード戸島」白熊地区の植栽延伸と周辺環境美化活動

七曲工業団地連絡協議会・白熊町内会
会長　伊藤和宏

前段

2008年9月の当協議会例会で、前述の植栽事業の大筋を合意。植栽場所と草花の選定を検討していく中で、由利本荘市大内地域の折渡峠アジサイロード視察、有識者からのアドバイスにより、高木のナナカマドやサルスベリ。中木のアジサイ。毎年植えるポピーやコスモスなどの比較から、丈夫で管理がしやすいアジサイが最適との結論に達し当協議会の事業としてスタートした。

植栽後、年に数回、工業団地と町内会との合同で除草作業を行ったり、町内の不法投棄事業に参加したり、工業団地と町内との距離が少しずつ縮まってきている。

以降、殺風景な道路にアジサイが咲く頃、会社や町内の方々が少しずつ除草をしたり、道路清掃をしたりと、周辺道路がきれいになって行くのを実感しています。

今回は、その事業の地域拡大として、植栽地域の延伸を提案し、工業団地内の各企業と地域、ともに賛成意見を頂き、合意のもとに延伸事業を計画しました。

引き続き、本地域が、「地域の環境・美化のうち、地域でできることは地域でやる」の精神のもとに行政・企業・地域と連携による事業を継続し、今後の定着を図っていきます。

新たに植栽することで、数年後には大きく育って、多くの人が散歩したり、観賞したり、目を楽しませたり、和ませたりと多くの人が行き交う「人との和と話と輪がつながるまち」を目指して行きたいと思っています。

今後の延伸計画（予定）も検討しながら、維持管理は、当団地内社員と周辺地域・町内会との交流を通して定期的に美化活動を行い、将来的に秋田市の名所（観光地）となるような団地・地域としての環境をつくり、自然と人が集う地域の活性化を目指したいと考えています。

あわせて「アジサイロード戸島」として「河辺戸島」をPRしていきたい。

今後の予定（年間）は下記の通り。

６月中旬	除草と施肥　美化活動
９月上旬	白熊地域への植栽／除草
１０月中旬	除草と美化活動

人が集うことによって、将来的には、アジサイまつりやアジサイマラソンなど工業団地・周辺地域・大学・県立中央公園などとの共催事業としてのイベントを行うなど、有名な地域へ発展させ、観光地に匹敵させるなど、周辺の活性化の一助となれば良いと考えている。

終わり